

有効回答 80（一部未記入等含む）

1 年代

A 10～20代	0	
B 30代	2	
C 40代	10	
D 50代	17	
E 60代	19	
F 70代以上	17	合計 65

2 セミナー開催を何でお知りになりましたか？

A 建築士会会報	27	
B セミナー案内（チラシ）	7	
C 友人、知人からの情報	28	
D その他（ ）	5	合計 67

3 セミナー内容について

A 参考になった	48	
B 不十分だった	8	
C その他	5	合計 61

「A参考になった」

- ・海溝型と内陸型の・・・。
- ・参考になったが、難しい。
- ・データ公開方法について触れてほしかった。
- ・S波の測定の重要性。
- ・分かり易い説明でした。もう少し時間を長く、詳しく説明を聞きたいです。
- ・地盤（宅地として）への関心。
- ・地盤の新しい捉え方で、被害を少なくする予防に利用できると思います。
- ・地盤構造の知見を得ることが出来た。又、そのハザードの理解が進んだ。
- ・地盤の周期増幅率が簡単にわかる、との事で、建物の強度が考えられるみたいと感じたので、将来住宅会社に聞いてみたいと思った。
- ・時間不足だったので、もう少し踏み込んで話して欲しかったです。
- ・プロジェクト資料で配布資料になかった物があり欲しいと思い、残念でした。
- ・個々の事例で得られた地盤情報の更なる活用方法が見えた。
- ・ハザードマップの必要性和見直しの必要性。
- ・漠然としたイメージであった地震・震災でしたが、それが数値やマップに表されている事が分かり、すごく腑に落ちたと感じました。
- ・耐震の仕事で、お客様への説明、工事の必要性の裏付け説明として役立てたい。
- ・卓越周期と固有周期の増幅率を判断する。
- ・常時微動により地盤解析できる点。
- ・活断層を把握する事の重要性を改めて痛感した。
- ・専門的な話が難しかった。
- ・観測方法
- ・基礎知識として有益であった。
- ・よく理解できた。
- ・素晴らしい講演でした。
- ・参考になりました。

- ・微動探査に興味を持った。地盤の固さより、地震時の周期が大事。

「不十分だった」

- ・専門知識の不足からか、少々講義内容の難易度が高かった気がする。
- ・資料が余りにも文字が小さく判読不能。(スライドも) 資料としての価値無。
- ・講演の語尾が聞き取りにくく知識を得られなかった。 ・実際の場所では・・・。
- ・難しかった。 ・短かったせいもあり理解しづらかった。
- ・専門的過ぎて理解不可でした。

「その他」

- ・難しすぎです。
- ・内容が専門的で広範囲なため時間が足りなかったように思いました。地盤調査の方法も身近な調査方法以外の紹介があって参考になったが、現実には難しい。
- ・基礎知識が足りないせいか理解が不十分でした。
- ・内容が専門的過ぎて、防災を考える参考にならなかった。

#### 4 東日本大震災、熊本地震以後、地盤について、不安を感じる事がありますか？

A大変不安を感じる	16	
B不安を感じる	40	
C不安は感じない	6	合計 62

「大変不安を感じる」

- ・三浦半島地区の表土は土被りが少ないと言われているが、山崩れに対しての不安は厚いものより安全なのか不安。
- ・できればボーリング調査をしたい。 ・地価の地質が何なのかを知りたい。
- ・特に新耐震以後の建物が地盤の性質に大きく影響されるので、今後も勉強していきたい。
- ・自宅はたぶん盛土がある。(一部地盤改良した) H15年新築。大地震でどうなるか不安である。
- ・原発用地の耐震性は大丈夫か？
- ・盛土の住宅地に住んでいる。東海地震の可能性は以前より強調されているので、出来る限り備えは行って行きたいと思っている。知識としての情報は理解していきたいと思うが・・・。
- ・宅地が盛土らしいので不安。 ・液状化、沈下について不安である。
- ・地盤についてまだまだ分からないことが多い。

「不安を感じる」

- ・自分の住まいや職場がどの程度の地盤か知らないから。
- ・全国至る所で毎日のように地震が起きている。大地震の前兆のように感じます。
- ・盛土造成地に住んでいるが、今までの常識はどうか？
- ・個々人がもっと検討すべし。欠陥があれば補強すべし。
- ・地盤の評価、地盤の中身を知るのが重要だ。
- ・不安ではありますが、その一方で個人の力ではどうにもならないかと、感じるのも事実です。

「不安は感じない」

- 自分の関わる設計においては「C」

5 東日本大震災 6 年半、熊本地震 1 年 5 か月経過しました、ご自身の設計活動において、地盤に関して留意されている事はあますか？

Aあり	45	
Bなし	17	
Cその他	4+（未記入 14）	合計 66

「あり」

- 必ずと言っていい程、地盤調査を行っている。      • 地盤調査の位置から調査結果の考察。
- 建物だけでなく地盤についても考慮しながら計画するようにしている。
- 地盤の種類によって分けるべきだと思います。      • 液状化判定等      • 液状化
- 設計監理業務受注時、地盤改良業者の「ひもつき」になっている調査業者への発注を控えています。予算が許せばセカンドオピニオンで「ひもつき」でない業者さんへお願いしている。
- 十分な調査を行うようになった。白地図などをよく見る。      • 公共事業と地震被害。
- 造成地について、履歴等を少し詳しく調べる様になった。      • 盛土による地盤の不安。
- 安全面の方向で改良をした。      • 地盤調査項目を多くした。      • 家具転倒防止対策
- 新しい情報を仕事に役立てて行きたい。
- ハザードマップ、液状化マップ、近隣ボーリング等の調査をよく見る様になった。地盤調査についても調査会社によって異なる事も知り、設計建築物での兼ね合いを考慮するようになった。

「なし」

- 特にありません。通常の姿勢で常に設計者としては留意しています。
- ある程度留意したが、今回の講演をきけば留意したとは言えない。

「その他」

- 宅地耐震化推進化事業の遅れ。
- 谷埋め盛土の居住者として知識を持っておく事。
- オーバースペックなほどに、資金の許す限りで。
- 実務をやっているので特にない。

6 今後、このような講習会がありましたら、ご参加頂けますか？

A参加したい      53

「具体的に、希望する防災に関する講習会内容」

- 避難、震後対策について      • 耐震スリットの有効性      • 災害対策
- 防災マップのありかた。アポイドマップの活用法      • 地盤に関する話。
- 減災に関する様々な手法。      • 暴風、積雪深

B参加しない      2

Cその他 3

時間が取れたら

7 防災委員会では、一緒に活動して頂く委員を募集しています。活動についてお聞きします。

A興味あり、活動したい 2

・多忙のため活動は難しいです。すみません。

B興味がある 25

・が、時間的にも活動は不可。

・が、時間的に無理かな。

C興味がない 16

・興味はあるが実働は難しい。

8 その他 ご意見等をお願い致します。

- ・先生に深く感謝します。
- ・エンジニアとの協同を前提とした考え方が感じられない講習が多いように感じます。
- ・「宅地カルテ」を初めて耳にしましたがとても必要なことだと思います。盛土の分譲地が多い中、大変重要だと思います。
- ・パワーポイント、プリントサイズをもう少し大きくしてほしい。浜建の話長いです。
- ・ありがとうございました。
- ・プロジェクターが見難い。プリントもA4では2ページ表示にしてほしい。講演は良かったのに残念です。
- ・「宅地カルテ」大変な問題提起です。

以上。